

中野区議会報告レポート

平成26年第3回定例会総括質疑

中野区議会自由民主党議員
佐野れいじ

発行：平成26年10月

中野区議会第3回定例会の決算特別委員会で私は総括質疑に立ち、以下の4項目について質問しました(9月24日)質問はそれぞれの項目とも多岐にわたりましたが、要点をピックアップしてご報告します。また、これらの問題については是非とも皆様のご意見をお聞かせ下さい。皆様の声を区政に活かすことこそが私の使命だと思っております。



佐野れいじ で検索!

1、中野区の空き家対策とその活用について

実態が把握できていないのなら、対策を立てる前に、中野区の実態がどうなっているのか、予算を組んででも調査すべきだ

空き家対策については、条例をつくるなどして(東京23区では足立、大田、新宿などすでに6区が制定)中野区も早急に取り組むべきだと、これまで私は本会議で2回にわたって区への対応を質してきましたが、国会での「空き家対策特別措置法案」条例化の動向を見極めて取り組むというのが区の見解でした。

この秋の臨時国会で提出予定の「法案」では、倒壊の危険などがある家屋を「特定空き家」に指定し、市区町村長は所有者に取り壊しを命じることが出来、猶予期間が過ぎても応じない場合は代執行を定めたものです。

一方、中野区の実態はどうなっているのでしょうか。これまで区にに対応を求められた83件については解体、売却、建替えが進み、改善の兆しが見受けられるものの、表面化してない空き家など実体については把握していないというのが区の答弁でした。

私は実態調査を専門家に相談するなど、費用を確保して行い、同時に空き家活用を図るべきだと述べました。これに対し区長は、将来これは大きな社会問題となるので、今後組織を横断してでも取り組んでいくと決意を表明しました。

2、中野区基本構想と10ヵ年計画について

待機児童ゼロを目指しながら、橋場保育園の新園建設工事の遅れは見通しの甘さではすまされない

待機児童ゼロ対策を進める区は、平成25年度の主要施設の成果として、平成27年4月の新園開設に向けて、橋場保育園の仮園舎整備工事及び既存園舎等の解体工事を挙げていますが、私はこの橋場保育園の工事の遅れを質しました。

同保育園は、建替え民営化により、定員が中野区で最も多い177人に拡大される予定でしたが、①入札不調②作業員の確保③搬入ルートの確保が出来なかったため、来年4月に開園するのは1階部分のみで2階は使用できないとの答弁。このことは単に見通しが甘く、完成が遅れたという問題でなく、入園を待ち望んでいる区民の期待を裏切り、区への信頼性の欠如にもつながりかねないと猛省を促しました。